

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	◎	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスに関係した抗原キットが販売できるようになり、その分が上乘せされている。また、化粧品の新製品が好調に推移している。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月初めから緊急事態宣言が明けて、人の流れが良くなっている。後半にかけて来客数や予約数がどんどん増えており、良くなっている。
	◎	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・県や市の来客増加施策がある。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・圧倒的に来客数が伸びている。3か月前は週末だけ多かったが、今月は宿泊者数だけでみると3倍の違いがある。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・首都圏での制限が解除されたことにより、商品の発送が増えている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・10月1日からあらゆる規制が解除になり飲食店街も時間短縮営業が解除になったので、少しずつ客が戻っている。そのような状況にあり、当店の来客数も増えている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・新規感染者数の減少で様々な制限が解除されたことにより、首都圏からの旅行者が急増している。旅館、道の駅等の観光施設には大型観光バスの姿もみられるようになってきている。それに伴い、旅館、観光施設などへの販売量が徐々に増加傾向にある。ただ全ての客先が上向きなのではなく、同じ飲食店でも業種業態による良否格差が大きくなっている。飲食店全体での底上げはまだまだ厳しい状況である。
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・利益の上がる仕立てがぼちぼち出てきている。
	○	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・ワクチン接種が進み、気温が下がったことで購買意欲が戻ってきている印象が強い。コロナ禍で減っていた家族連れやグループでの来店がこの1か月で増加している。
	○	百貨店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が明け、前半は前月までの流れから変化はなかったが、新規感染者数も継続的に減少してきた月半ばからは、1割ほど来客数も増え前年を超える日も出てきた。また、気温の低下もあいまって、衣料品の動きも活発になってきている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に関する規制解除に伴い、土日の動きが出てきている。土日に限れば来客数が前年比16%増加しているが、平日は動きが横ばい状態で前年比99%となっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・7月は高気温、8月中旬以降は悪天候であった今年の盛夏と比べ、来客数は前年比で安定的に伸長している。
	○	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、県外からの来客が多くなっており、高額品を中心に購買されている状況である。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・10月初めは景気が動いていないという状況であったが、週を追うごとに新型コロナウイルスの新規感染者数が減って、出張のほか、表彰式や結婚式といったいろいろな行事が増加してきたので、少しずつ上向きになりつつある感じがある。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少、時短営業の解除など、明るい話題が少しずつ出てくるにつれ、消費者のマインドも変わってきており、徐々に消費に向けて行動が戻りつつある。
○	家電量販店（店長）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染も一段落して客の購買意欲が増してきている。冷蔵庫や洗濯機などの白物家電の単価が上がっている。黒物家電といわれるテレビなどの単価も前年並みになっている。季節要因の暖房商品は今のところまだ出ていないが、こちらの単価も段々と上がってくると予想している。全体的には前年並みの数字になっている。	

○	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注生産なので、受注量が増えたことによって生産量も増加している。
○	その他専門店 〔白衣・ユニ フォーム〕 (営 業担当)	販売量の動き	・宣言が明けて少しずつではあるが動き出してきた感じがある。飲食店や観光業はまだまだ客足は戻っていないが、それでも多少なりとも活気が出ているようである。今後に向けての準備なのかもしれないが光が見えてきた。
○	その他小売 〔ショッピング センター〕 (統 括)	来客数の動き	・感染拡大が急速に収まってきて、客足がかなり戻ってきている印象を受ける。ただ、まだまだ購買にはつながっていないので、今後につながることを期待している。
○	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・レストランのランチ、ディナーの客が増えている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・全く予約が入らなかったディナータイムに、最近ほんの僅かだが予約が入り始めた。緊急事態宣言が解除されてからしばらく動きがなかったが、月末になり多少客が戻るような雰囲気が出てきている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・時短要請解除の影響があるようである。地方なので、東京都のような爆発的な戻りは無いが、時短要請やまん延防止等重点措置、緊急事態宣言が出ていた頃よりは5割くらい戻ってきている。
○	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除により関東圏からの客足が伸びている。
○	観光型旅館 (経 営者)	来客数の動き	・様々な規制が解除されたことや行楽シーズンということもあり回復基調ではあるが、客も慎重なようで回復は緩やかなようである。
○	旅行代理店 (従 業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症新規感染者数の減少による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除により、個人旅行と教育旅行を中心に感染状況をみながらではあるが、ようやく動き始めている状態である。今後の新規感染者数も現状の感染者数程度に収まれば、一般団体においても緩やかに回復する兆しがみえてくる。現段階では様子見の状態である。
○	旅行代理店 (従 業員)	販売量の動き	・各県で宿泊の県民割プランが復活していることや、緊急事態宣言が解除され新規感染者数が減ってきていることにより販売量が増えている。
○	旅行代理店 (従 業員)	販売量の動き	・前月までは人流が極端に抑制され極めて厳しい状況であったが、9月20日頃を皮切りに緊急事態宣言の解除、新規感染者数の大幅減等もあり一気に人流拡大が始まった。付随受注も極端な伸長をしている。前月までのマイナス分をリカバリーするには半年掛かるものの、やや上向き傾向である。
○	通信会社 (営業 担当)	お客様の様子	・巣籠り需要が定着してきたためか、首都圏の緊急事態宣言解除後も早く帰宅して自宅でテレビを見たり、インターネットを利用する人が増えている。新しいライフスタイルが幅広い年齢層に定着し、アルコールを伴う飲食等のための外出も思うようには回復していない。引き続き、巣籠りで自宅時間を楽しむためのインターネット利用者は増加傾向にある。
○	観光名所 (職 員)	来客数の動き	・個人のフリーの客の予約が日々増えている。毎日20~30名ずつ新規が入る状況である。また、一般団体も地域のコミュニティの会合、集会などの団体、若しくは旅行会社の募集団体も人数は少ないが徐々に増えている。
○	遊園地 (経営 者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の終了と新規感染者数の減少により、客のマインドが好転し、県内中心ながら学校団体の入園もあり、ようやく前年同様の推移となっている。
□	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・ワクチン接種が進み新規感染者数は大幅に減少したものの、冬にかけて再び第6波の感染拡大が懸念されることから、景気は横ばいとなっている。
□	一般小売店〔書 籍〕 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で依然巣籠り状態が続いているとみられ、来客数が少ない。しかし、新型コロナウイルス感染者数ゼロの報告が続いているなかで、徐々に改善されてきている。

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・8～9月の不調からは脱しつつあり来客数も戻ってきているが、前年、前々年の同月と比較すると、まだまだ回復しきれていない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除に伴い来客数は回復の兆しをみせ、3か月前と同程度になってきている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年比100.0%で変化はなく売上の前年比も100.2%の状況である。緊急事態宣言が解除され、スーパー以外の人流は起きるとみられる。外食などは動きに少し変化が起き、今までの内食需要はマイナス傾向を予測しているため、更に厳しくなるとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだあり、多くの人が行動を自粛しているとみられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ワクチン接種が進んで10月後半より順次客の動きが出てきているが、まだ警戒感が強く新型コロナウイルス発生前のような気軽に外出、外食する動きは見受けられない。様子を見ている状態である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数は激減しているが、自粛傾向は続いているようである。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・飲食業関連は依然として売上が減少しているが、ホテル関係は多少戻りつつある。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスも全国的に少し落ち着いてはきたものの、まだまだ県外への旅行などを控える傾向は変わらない。洋服を新調しても出掛ける予定がないからと、購買意欲が抑えられている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・来客数は増加していない。しかし、季節商材の買換え需要もあると考えられるが買上点数が増加しており、若干良い傾向にあるといえる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・商品の購入点数が前月と比べて少しずつ増えてきている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半導体不足の影響で車の納期が不安定であるため、なかなか販売に結び付かない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [酒]（経営者）	来客数の動き	・ここしばらく、アルコール類の動きは飲食店、一般小売店共に停滞している。特に飲食店は壊滅的で先行きが見通せなくなっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [靴]（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、ショッピングセンターの集客が戻りつつある。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策の緩和などに期待をしていたが、緩和と同時に原油コスト上昇、販売価格の高騰という環境となり、販売量は低調だった前年すら超えない状況である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・サラリーマンのタクシー利用は県外からの出張者が多く、市内勤務者は極少である。また、高齢者の利用頻度は今月も極端に少なくなっている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	単価の動き	・前月同様変化はない。新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向にあり消費は若干上向きだが、10月から各商品の価格高騰が見受けられるので下げ止まり感がある。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数は減ってきているが、まだ活動を控えている。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	来客数の動き	・休業前までは無料ファンバスでの送迎を行っていた。しかし、再開後はファンバスをやめたため、客の移動手段がなくなり来客数及び売上減少につながっている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	競争相手の様子	・近隣の同業者は値段を安くしているようである。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され警戒レベルが緩和されたが、依然として往來の自粛や飲食の自粛が続いている。客足が増えず、売上も伸びない状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新規引き合いが届いており、一定の需要はあるとみられるが、景気が改善するような全体的な話ではない。

□	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・戸建て住宅受注は伸びないが、賃貸集合住宅の受注が順調である。
□	その他住宅〔リフォーム〕 (従業員)	販売量の動き	・住宅設備機器については、暖房器具の販売、交換工事が増えている。給湯器の納品遅れに対しては代替メーカーの商品を紹介している。リフォームについては、増改築、塗装の大型工事が減っている。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が下火になっても余り景気が上がらない。いつの間にか価格が上がってたり行事がなくなったりしている。
▲	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	販売量の動き	・中旬までは平月どおりで推移していたが、下旬にかけて売上額が落ちてきている。通常、年金の支給月は客足も販売額も順調だが、今月の動きは従来と異なっている。景気の悪化によるものか、それとも急に気候が冷えてきたせいなのかははっきりしない。
▲	スーパー(経営者)	単価の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少が続き消費が回復することを期待していた。しかし、米価の値下がりはあるものの、食品の値上がりや原油価格の高騰が始まり、平均1品単価は上がっている。来客数減少による買上点数の減少もみられ、財布のひもは一層固くなっている。経済の様子は良い話が聞かれず、消費は一段と厳しくなっているようである。消費の状況は前月より良くない。
▲	スーパー(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少してきた社会情勢が影響して、家庭内食需要に低下の兆しがみられる。生鮮食品を中心に販売量の落ち込みが出始めている。
▲	スーパー(店長)	販売量の動き	・会社全体として前年の売上をぎりぎり維持している状態である。
▲	スーパー(営業担当)	来客数の動き	・新規感染者数の減少によるリベンジ消費の増加から内食需要が下がっている。新規感染者数が増加して巣籠りによる内食需要が増加した前年の冬と比べると反動減が大きくなっている。季節の地域イベントの自粛も消費活動に大きく影響している。
▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症は大分少なくなってきたが、客の動きはまだまだかなり鈍く売上には直結していない。なぜなのかは分からない。
▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数の減少が依然続いており、厳しい経営である。客単価は上昇したがたばこ増税によるもので、利益につながっていない。
▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数、販売量共に減少傾向にある。地域の景気も改善がみられず、実質収入も減少していると推測される。
▲	コンビニ(店長)	来客数の動き	・いざ緊急事態宣言が解除されてみると、意外に財布の中にお金がないという客の声が多く聞かれ、新型コロナウイルスの経済への影響が広く悪い方向に噴き出してきたような印象を受けている。
▲	家電量販店(店長)	来客数の動き	・特に年配者の来店数が減っている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車受注に比べ、余りにも納期が遅れている。納期が遅れているということは、販売や登録に結び付かない。
▲	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症は新規感染者数が減少傾向にあるが、客の入り数が少なく、高齢者の購買にはまだまだ結び付いていない。買物は様子見という人が多いようである。
▲	高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が段々と収束してきており、客は模様眺めをしている。
▲	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除になってからは、週末は県外客が来るようになったが、地元客はまだまだ来店しての食事は控えているようである。集まりを制限している法人客が多く、夜の部は特に冷え込んだままである。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・ワクチン接種が大分進み新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなってきたが、客からはこの先の再流行を心配しているという話を聞く。

	▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・コロナ禍による集客の激減で、特に飲食業、宿泊業に大きなダメージがあり廃業に追い込まれる店舗がかなり増えている。新規感染者数が減って来てはいるものの客足が戻らない。景気は更に悪くなっている。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前の来客数は前年比で100%を若干下回る数字であった。前月は緊急事態宣言があったので約88%であった。今月は前年比約92%となり僅かずつ戻ってきている。しかし、どういうタイミングでどこまで伸びてくるかは見通せない。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度が低くなり、買上点数が減っている。明らかに来店客の様子が生活防衛型消費へ転換している。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・売上が減り続けているなかで最低賃金が上がり、経営状況は最悪になっている。
	×	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・メーカーの生産遅れが長引いている影響で足元収益がかなり悪い。サービス含むバリューチェーン領域でカバーしきれないところまで来ている。
	×	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・住宅ローン減税の注文住宅対象期間が9月に終了したこともあり、10月の来場組数は前年比85%、過去5年平均比70%となる見込みである。11月からは気温も下がり、来場動機になる要素も少ないことから、12月までは厳しい状況が続くとみている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・民間の大型設備投資を始め、多数の受注があった。
	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全国的に緊急事態宣言やまん延防止等が解除され、人の動きが出てきた。土産需要も少し動き出した感じはする。売上は前年よりプラスにはなっているが前々年から比べるとまだまだである。いろいろなものの値段が上がり出しており、コスト的にも厳しい状況である。
	○	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・県の緊急事態宣言解除後、店舗の売上が少しずつではあるが右肩上がりになっている。駅周辺の人や車の往来も増えてきており、また飲食店においては家族連れも多くみられるようになった。県独自で実施している食事券の利用も増えてきている。
	○	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ワクチン接種率が70%近くまで進捗し、新規感染者数は全国的に目を追うごとに減少してきている。これにより、延期になっていた業務が再開になったり、新規の発注が出てきたりしている。今月の売上はようやく前年を超える水準になり、前々年比較だと95%まで回復することが予想される。
	○	金融業（広報担当）	取引先の様子	・依然として観光宿泊関連はペースが戻らないものの、休日の街中や商業施設ではにぎわいを取り戻しつつある。当地では緊急事態宣言等が発出されたわけではないが、全国的な新型コロナウイルス対応緩和による心理的な影響が顕著になっている。
	○	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・急激な新規感染者数減少に伴い、10月に入ってから旅行会社からの広告出稿が目立ってきた。これにイベントが通常開催になるようであれば、広告業界全体の底上げが期待できる。
	○	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除と衆議院選挙で多少上向きであるが、それ以外の落ち込みを勘案すると、大きな変化は少ないとみられる。
	○	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ワクチン効果も現れて新型コロナウイルスを心配しなくてよい状況になりつつある。特に、今まで悪かった業務用、飲食業、観光業、レジャー産業といった業界がこれからはますます良くなるのではないかとみている。一方、今まで新型コロナウイルスに左右されなかった商売はやや落ち込むのではないかとみている。
	○	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・町内の温泉街にも客足が戻り幾分活気がみられるようになっており、特に週末から月曜日にかけて泊まり客が増えている。滞在時間は短いものの土産店や名産物店でも客が増えてきている。
	□	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・9～10月は天候にも恵まれ、ぶどう、なしの品質が良く、販売単価が例年より1～2割程度高くなっている。

	□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず販売量の5～10%減少が続いている。緊急事態宣言解除による影響は、まだない。
	□	出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	受注量や販売量の動き	・相変わらずイベント等の開催が少ないため印刷物が少ない。しかし、新型コロナウイルス対策や選挙絡みの仕事があるため、前々年並みに戻り始めている。
	□	電気機械器具製 造業(企画担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・半導体価格が徐々に本来の傾向に戻りつつあり、コロナ禍の一時的な上昇傾向は収まってきている。それに応じて景気も変化するとみていたが、大きな影響はない状況である。
	□	建設業(従業 員)	受注量や販売量の動き	・公共工事は一定の受注があるほか、民間工事も相応に受注がある。一方、人手不足は解消にまだ時間が掛かる見込みである。
	□	通信業(営業担 当)	取引先の様子	・5G化の影響で料金の引締めが厳しくなっており、現状維持も限界に近い。
	□	経営コンサル タント	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が一気に減少し、水面下での景気浮揚のエネルギーは感じるが、現段階では目に見える変化はない。
	□	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、あるいは決算状況から判断している。飲食店、小売、サービス業はかなり苦戦している。建設業関係は若干持ち直しているが、全体としては3か月前とさほど変わらない。
	□	その他非製造業 〔食料品卸売 業〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・10月は前年のG o T oキャンペーンの反動が出ている。観光客の外食並びにG o T oキャンペーンクーポンによる土産需要がなくなっている。
	▲	窯業・土石製品 製造業(役員)	受注量や販売量の動き	・出荷量は前年比10%減少が毎月のように続いている。需要減少と原材料の価格高騰等もあり厳しい状況が続いている。
	▲	電気機械器具製 造業(営業担 当)	取引先の様子	・取引先が所有している各設備については、予防保全ではなく事後保全での対応に移行して修繕費抑制を図っている。また、経年劣化や不具合発生に伴う設備更新において、既設納入メーカー特命発注ではなく、競争発注による調達が増加している。
	▲	コピーサービ ス業(従業員)	受注量や販売量の動き	・主力商品であるIT機器関連商品の半導体の品不足による入荷遅れは解消されておらず、受注はある程度あるが売上計上ができない状態が続いている。
	×	農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・農協の米の概算金が決まったが、米価の下落は例年にないほどとなっている。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・9月の終わり頃から緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除を見込んで各企業が求人を探し始めている。今月に入り、派遣会社や事務員の募集、小売店の販売業募集等で企業の採用単価が前月よりも大幅に上がってきている。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数の伸びを見ても新型コロナウイルスの影響前の2019年と同等水準まで回復してきている。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・今月に入り接客販売業務や製造業務の求人数が増加しており、求人全体が増加傾向にある。
	○	新聞社〔求人広 告〕(担当者)	それ以外	・旅行業を中心に広告出稿の問合せが増加してきている。他業種でも前向きな相談が増えてきている。また、緊急事態宣言解除に伴い、夜のアルコールを伴う飲食の機会が増えている様子である。新型コロナウイルス対策をしっかりとった個室のある飲食店では満席が続いている。
	○	新聞社〔求人広 告〕(担当者)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、制限はあるものの各種イベントが実施されるようになってきている。
	○	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・洋上発電の建設などで作業員の飲食、宿泊需要により新型コロナウイルスの影響を受けやすい飲食店や宿泊施設が逆に好調な状態にある。総じて新型コロナウイルスの影響が少ない状況にある。
	○	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・3か月前と比較して新規求人数、有効求人数共に約100人増加している。
	○	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人数は製造業だけでなく、小売業、飲食業、宿泊業を含め全体的に増加傾向となっている。ただし、労働力の不足を訴える事業所が多くなっており、成長の阻害要因になっているとみられる。

○	民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・2～3か月前と比べて徐々に生産数が戻り、人手を必要としている企業がある。
○	学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数の減少により、飲食店への来客数が増加傾向にある。また、それ以外にも、外出や宿泊を伴う人の動きが増加している。
□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業における採用や補充、増員などの動きはまだみられない。横ばいが続きそうである。
□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・オーダー数が現時点で前年よりマイナスであり、いまだ回復傾向はみられない。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の申込状況は変わらない。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は若干の減少となっているが2か月連続で前年同月とほぼ同数となっている。
▲	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・現在まだまだ会議が少なく、良くなっていない。
×	—	—	—